

ネット時代の子どもたち



情報に流されない
自分らしさを育てるために

栃木県青少年育成県民会議

子どもにスマホを与える理由は？

子どもにいつスマホを与えるかは、現在の保護者にとって大きな決断です。家族の連絡用に持たせれば便利ですが、それと同時にSNSのトラブルやゲームのやりすぎ、犯罪やいじめなど、不安を抱えることにもなるからです。そこで、子どもをスマホやネットの危険から守り、安全に安心して使えるように、危険性を伝えてルールを守らせる方法^{※1}が注目されています。

危ないからダメ！
必要ないでしょ？

連絡できたら便利だけど、
トラブルは困るな～

ルールを決めて守ら
せれば安全よお！



所持率20%



所持率40%



所持率60%

ルールを決めて守らせることで、事件やトラブルから身を守ることは出来るでしょう。しかし、そこまでしてなぜ高性能なスマホを与えるのでしょうか？子どもの生活に役立つようなスマホの指導は出来ているのでしょうか？

Q：お子さんにスマホを与える理由は？



他に連絡手段が無いし、持たせれば私も安心してきてうれしいな。みんな持ってるのに、うちの子だけ持たせないのはどうなの？

Q：生活に役立つ指導はできますか？



私が子どもの頃は無かったものだから、どうやって教えたらいいの？使いながら子どもが自分で覚えるでしょ。

スマホが使える人を目指す

私たちはなぜスマホを使うのでしょうか？それは、自分にとって必要な人や情報とつながることで、様々な面で生活の質が上がるからです。私たちはスマホを使うために生活を変えるのではなく、自分の生活のためにスマホを使うはずで、同じように子ども達も、自分らしく毎日を過ごすことで、主体的にスマホが使える人になっていくと考えてみましょう。

スマホが使える人の特徴は？

自分の意見を持っている

冷静に話し合
うことができる

責任を理解
している

寛容である
優しさがある

スマホは操作方法やアプリの理解より、伝え合う内容や目的が重要^{※2}です。スマホ使用時に必要な思いやりや責任感、助け合いの精神などは、スマホを使って学ぶよりも、実生活の中で体験的に得られることの方が多くあります。

体験から得られるもの

達成感から自信を得る
学びの楽しさに気付く感動体験
人の優しさに触れ感謝する
失敗から学ぶ



スマホを使う力

思いやり 責任感
目的意識
自制心 向上心
助け合い

！ いまさら子どもからスマホを取り上げることはできない。
危険性を伝え、ルールとマナーを守らせて安全に使わせよう。

！ スマホを使うために考えるのではない。
成長を促し、スマホが使える人になるために考えよう。

※1 いじめや犯罪被害防止、生活の乱れを防ぐ目的などで作られる行動規範。「ネット上に個人情報を書き込まない」「悪口を伝えない」「夜10時になったら使わない」など、家庭のみならず、学校や自治体で取り組むことも多い。

※2 スマホは手紙や電話と同じ「情報を伝える道具(メディア)」。スマホの使い方は、言葉選びや伝える目的を考慮することであり、これは使用者の思考力や社会常識、表現能力など他者と関わる能力に依存する。

子どもとスマホ 4大リスクと問題の捉え方

スマホを通じて行うコミュニケーションや情報収集方法には、実社会とは異なる点が多くあります。そのため、スマホ利用の問題にはITスキルや専門知識が必要と思いがちです。そこでスマホ利用の問題を、使う人の社会的なスキルや精神的な

自立の問題と考えてみてください。すると、子ども達のネット利用が問題になりやすい理由も、トラブルの原因や考え方も、身近な日常の問題として捉えることができるようになります。



見方を変えると考え方が変わる！

チャットを使っていて嫌な思いをした子がいる時、それをいじめと考えるか、関わり方の学習機会と考えるかで、対応が変わります。

子どものスマホ利用の指導も、起こしてしまった問題の処理や再発防止に注目する場合は、**出来事を考える視点**が重要になります。子どものより良い成長に注目する場合は、**目的を考える視点**が重要です。

どうしたら嫌な思いをしなくて済んだと思う？



出来事を考える視点

「どうしたらよかった？」
「どこで間違えた？」
「誰が悪かった？」

どうしたら安全にスマホが使えるのか？被害を防ぐための方法を考えながら、悪いことをしないように話し合います。

スマホを通じてどのように成長していくのかな？



目的を考える視点

「何のために使うの？」
「生活に役立ってる？」
「少しは成長したかな？」

何のためにスマホを使うのか？その子の成長に合わせて、より良いコミュニケーション手段を考えるために話し合います。

！ スマホは、間違った使い方をしなければ便利な物と考える。

！ スマホは、より良い生活を送るための手段の一つと考える。

トラブルの対処や回避方法を知るだけでは、ネット社会を発展させていくには不十分です。リスクと向き合い、問題の本質を考えられる人材育成が、未来の問題を防ぎ、より良い社会を築きます。

子どものネット利用に必要な3つの要素

ネット時代とは、誰もが社会の主役として話し合いに参加し、助け合い、多様性を認め合う時代です。豊かなネット社会を築く子ども達の未来のために、これまで以上に子ども達の成長を促すことが、私たち大人の務めです。

豊かなネット社会を構築する人材育成

意欲を育む

イイネ～！



感謝と助け合いの精神を育み 自尊心や責任感を高める

思いやりや責任感は、実体験から学ぶことが多くあります。他人と前向きに関われる人は、スマホを使っても人に感動や幸せを与え、生活を豊かにしていきます。

思考力を高める

なるほど！



疑問を持ち考える姿勢を高め 物事を評価する目を養う

何となく当たり前と思っているものに疑問を持ってみましょう。多様な情報の中から自分の答えを生み出しましょう。物事を評価する目を養えば、情報に流されにくくなります。

ネットの安全利用

危険から守る

これで安全！



子どもの理解力や生活力に 適した利用環境を整える

子どもの理解や自制心には限界があります。その限界を見極め、情報を制限したりルールを決めて子どもの成長や日々の生活を見守ったりすることは、大人の責務です。

ネット時代の子どもたちのために

感動する実体験の機会を増やそう

子どもの意見や主張にしっかり向き合おう

子どもと一緒に考える姿勢を持とう

数えきれないほどのゲームや動画コンテンツ、いつまでも続く友達との会話、たくさんの不確かな情報に流されやすい毎日。そんなネット時代を生きていく子ども達には、自分に自信を持ち、感動のある良質な時間の過ごし方を考え、自分らしく生きていく主体性を育むことが不可欠です。

闇雲にネットを避けるのではなく、利便性や快適さに甘えるのではなく、子どもの育ちに寄り添いスマホの使い方を一緒に考える大人の姿勢が求められています。



企画：栃木県青少年育成県民会議
制作：合同会社ロジカルキット
NPO 青少年メディア研究協会

この冊子のお問い合わせ
公益財団法人とちぎ未来づくり財団
青少年育成課 TEL 028-643-1005
初版発行：2019(平成31)年1月